

# 金属団地ニュース





## 令和元年度 金属団地安全大会



安全衛生管理者協議会

会長 小栗 國 男

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という崇高な基本理念の下、「労働災害を防止するために産業界での自主的な活動の推進と、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、今年で92回目を迎えました。

この間、事業場では、労使が協調して労働災害防止対策が展開されてきました。この努力により労働災害は長期的には減少していますが、平成30年については、「死亡災害」は前年を下回る見込みですが、「休業4日以上之死傷災害」は3年連続で増加しています。労働災害の防止のために、国、事業者、労働者などの関係者が重点的に取り組む事項を定めた「第13次労働災害防止計画」が、平成30年度を初年度として新たに展開されており、それぞれの事業場で一人の被災者も出さないという理念の下、日々の仕事が安全で健康的なものとなるよう、不断の努力が必要です。また、平成30年9月には、企業での自主的な安全衛生管理のための取り組みを体系的かつ継続的に実施するための仕組みである労働安全衛生マネジメントシステムに関する日本工業規格 (JIS) が制定されました。

このような状況を踏まえて、令和元年度は、「新たな時代に PDCA みんなで築こう ゼロ災職場」をスローガンに全国労働安全週間が実施されました。

7月1日朝8時30分よりパトロールが開始され、協議会役員は、岐阜労働基準監督署の渡邊主任監督官とともに信栄ゴム工業(株)、(株)山村製作所、華陽オートテック(株)、(株)三機4社を訪問し、各社ごとに講評を頂きました。

午前10時10分、組合研修センター3階集会場にて「安全大会」がスタートしました。

会長挨拶の後、各委員長が、委員会ごとに取りまとめたパトロールの結果を発表し、渡邊主任監督官からは、今回パトロールされた4社の総評、岐阜労働局管内における労働災害の発生状況などのお話を頂きました。



最後に労働安全コンサルタントの新堀先生による「ヒューマンエラーを少なくするためには」というテーマで講演を頂きました。人は、油断する、思い込みをする、勘違いをする、疲労などにより注意力が散漫になる。すべて心当たりのあることばかりです。そういったヒューマンエラーを防ぐ職場の心がけとして次の5項目を挙げて頂きました。ぜひ参考にしてください。

- 1、人間関係を良くして安全意識を高める。
- 2、職場内の整理整頓を行い、エラーしやすい設備や作業方法を改善する。
- 3、作業前に関係者全員で作業手順を確認する。
- 4、作業中は安全配慮を意識して行動する。
- 5、監督者や職長は安全最優先の行動を率先し、適切な指導をする。



## 監督官総評



岐阜労働基準監督署 第二方面主任監督官 渡邊吉徳  
日頃より岐阜県金属工業団地協同組合の皆様におかれましては、労働基準行政の推進に格別の御理解・御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

岐阜労働基準監督署管内の令和元年6月末日現在の全産業の休業4日以上労働災害による死傷者数は、286人で前年同時期と比較すると8人の減少となっておりますが、この4年は連続で増加しております。また、ここ各務原市金属工業団地内における労働災害発生件数は平成28年6件、平成29年8件、平成30年2件と毎年発生しており、「事故の型」（傷病を受けるもととなった現象）で分類すると、プレス機械などによる「はさまれ、巻き込まれ」災害が最も多く、次いで、フォークリフトや機械などからの「激突され」といった災害が多く発生しています。「起因物」（災害をもたらすもととなった機械などの物や環境）で分類すると、「プレス機械」や「金属材料」が最も多くなっています。

金属団地内の災害発生状況も踏まえ、今回のパトロールでは、「はさまれ、巻き込まれ」をどのように防止しているかという「機械の安全対策」、整理整頓をすることで安全通路を確保できているかという「4S（整理・整頓・清掃・清潔）」の視点で観させていただきました。気が付いた点は次のとおりです。

### 1. はさまれ、巻き込まれ災害について

安全化の基本は、(1)本質安全化（危険源を取り除く。動力源のトルクを怪我をしない程度に落とすなど）(2)停止安全（機械の作動を止める。人が近づく時は機械が止まるなど）(3)隔離安全（人と機械の場所を分離。囲いなど。）ですが、(1)については、機械の本来機能まで損なう場合があること、(3)については、作業方法上困難であることが多く、事実上、(2)の対策を講じることが多いと思います。

プレスブレーキについての安全化は、安全装置（光線式安全装置）の設置ということになりますが、

昨年度に引き続き、今年度も安全装置が設置されていないものがありました。外付けの安全装置を設置することが困難な機種もあるようですが、そのような場合は、暫定的に治具を用いて危険源から安全な距離をとって作業をし、どうしても安全装置を設置できないのであれば使用の中止や買い替えも検討してください。

また、ローラー（回転体）に覆いなどが設けられておらず、むき出しとなっている箇所がありました。覆いを設けるか、光線式安全装置などで、人が近づくと停止するなどの安全対策が必要であると思いました。

## 2. 安全通路について

限られた工場内のスペースで、安全通路を確保するというのは非常に困難だと思いますが、通路と作業範囲がラインで分けするなど工夫されていました。ただ、荷を置くスペースがないため、相当高く荷を積み上げている箇所があり、別のリスク（荷の倒壊など）が発生している箇所がありました。リスクアセスメントを導入し、全体のリスクの軽減を図れると、なお良いと思います。

## 3. 墜落防止措置について

地上からの高さが2メートル以下の足場であっても、親綱を張って墜落防止用の安全帯を使用できるようにしている事業場がありました。しかし、パトロール中に作業状況を見ると、せっかくの安全設備を利用しないで作業をしておりました。

安全設備は、設置するだけでなく実際に使用するようには安全教育を定期的に行い、安全意識の高揚を図ることが重要です。

## 4. 転倒防止対策について

転倒災害は最も多い労働災害であるため、厚生労働省は「STOP! 転倒災害プロジェクト」を推進しています。転倒災害を防止するためには、まずは転倒危険場所の情報を収集し、労働者への共有を図ることが重要です。

パトロールの中、油を使用している工場で作業床が滑りやすく転倒しやすい状況の工場がありましたが、そこでは産業医と職場を巡回し、転倒防止対策として、耐滑性の安全靴を選定・使用しており、非常に効果的な対策をしておりました。



## 7月度月例会開催

7月22日(月)正午より、組合研修センター 3階集会室にて7月度月例会が開催されました。今回は講師に(株)ワークリレーション 職業紹介事業部 部長 藤田英明氏をお招きし、『外国人労働者の受入れ(技能実習と特定技能について)』をテーマに、4月1日から創設された新たな外国人受入れ制度である一定の専門性・技能を持っている外国人に在留資格を与える特定技能について、従来からの技能実習と合わせてご説明いただきました。近年社会問題となっている人手不足は、中小企業にとっては特に深刻であると感じられます。以前金属団地で雇用状況調査と外国人技能実習生に関するアンケートを行い、その結果は5月号に掲載しましたが、技能実習では受入期間の上限が3～5年となっており、技術を習得するには期間が短かすぎるとアンケートの回答にもありました。今回創設された技能実習の特定技能1号ではさらに在留期間5年が認められ、技術習得に加え人手不足の解消に大きく役立つ制度となっています。受入れるに当たっては、日本人と同等以上の待遇が必要とあり、中小企業としてはハードルの高い一面を持った制度であるようですが、人手不足に悩む中小企業にとっては、問題解決の選択肢のひとつであることは間違いのないと思われま



## 新社長就任ご挨拶



(株)石田製作所

石田 智美

平素より金属団地の皆様にはお世話になり心よりお礼申し上げます。

この度弊社代表取締役社長石田甚一の逝去に伴い後任として代表取締役社長に就任致しました、石田智美と申します。

前社長の遺志を継ぎ、微力ながら社業の発展、また皆様に応えていけますよう専心努力いたす所存でございます。

前任者同様 今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

## ナゴヤドーム観戦ツアー開催

7月27日(土)、中日ドラゴンズ×横浜DeNAベイスターズの観戦ツアーを開催しました。

金属団地の恒例行事となりましたこのツアーに10社89名が参加いたしました。

雨風が吹く中、事前に割り振られたバスへ乗り込み、大型バス2台でナゴヤドームへと向かいました。出発前の乗車人数・チケットの確認、車内アナウンス等々お手伝いをしていただいた小栗労務委員長・青年部会員に感謝申し上げます。

さて、ナゴヤドームでは7月26～28日まで『夏の竜陣祭2019』と題し、イベントが盛りだくさん。SKE48の来場、始球式にタレントの中村玉緒さんが登場する等、観客を楽しませていました。試合終了後はDJダイノジによる『竜陣祭ディスコ』が賑やかに行われ、最後まで残った観客を盛り上げていました。

尚、試合の結果については青年部ページをご覧ください・・・。

今回のツアーでは、座席を5階パノラマ席から内野席へ変更しました。5階席と比べドーム内の移動も楽になり、プロの試合を間近に見ることができ、観戦を楽しめたのではないかと思います。参加された皆様お疲れさまでした。





## 日本木工機械展ウッドエコテック2019出展

### 常盤工業株式会社

常盤工業株式会社は10月3日～6日にポートメッセなごやで開催される『日本木工機械展ウッドエコテック2019』に出展を致します。出展機種は鉋盤を中心としたラインアップを予定しており、中でも大型四面鉋盤GMX-5001は防音、安全フルカバーにて快適安全な機械仕様になっております。また樹脂加工用の鉋盤ADR-652Pも出展予定です。

会場には100数十社以上が、木工機械のみならずプラスチック加工機械、エコ機器、環境機器、林業機械など国内外の最新製品を多数展示する国内業界最大の展示会となっておりますので、お時間のある方は是非とも展示会場までお立ち寄り頂ければと思います。



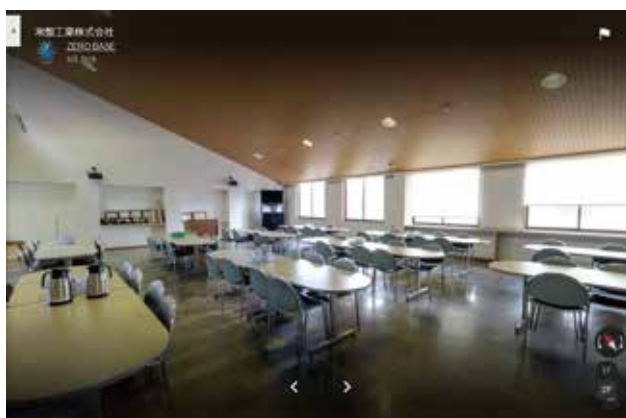
【大型四面鉋盤 GMX-5001】



【樹脂用定盤固定式自動一面鉋盤 ADR-652P】

## Google ストリートビュー社内ツアー開始

常盤工業株式会社は、7月より企業広報活動の一環として、会社内をGoogleストリートビューで御覧頂けるように致しました。会社検索をする際に、多くの皆様がGoogleを利用し、またストリートビューで経路や会社外観等の確認をされることも多いかと思えます。しかしながら、以前の弊社は所在地マーカーが会社の裏手に設定されていたこともあり、自社をしっかりと御確認頂けないような状況になっていました。そのあたりの修正に加えて、弊社を検索して頂いた新規のお客様、また弊社の社員募集などに興味をもって会社検索してくれた方に対して、少しでも弊社の事を分かって頂けるようにという目的で実施を致しました。現状は事務所棟の内部と工場入口のみの公開となっておりますが、弊社正面玄関より入場頂いて、360°の視点で会社内を御覧頂けます。今後は工場内部の公開も念頭に、より多くの方に御覧頂けるように自社の広報活動を推進していきたいと思えます。



### 情報ファイル

#### R2 “新規高卒獲得”のために その3

### 自社の“認知度”を高め、応募に繋げるためには？ その1

先月号では、新規高卒の“求人動向”と高校生たちの“進路動向”(マーケティングの一事例)について述べさせて頂きました。今回は、自社の“認知度”を高めるための活動(マネジメントの一事例)について、企業人材全力応援室の取り組みと合わせて紹介させて頂きます。

#### ■企業人材全力応援室の企業支援の取り組み

企業人材全力応援室のミッションは、「市内企業等が、新規高卒・大卒及び中途離職者等を一人でも多く雇用できるように支援を行い、各企業等の求人充足率を満たすこと。」です。そして、企業人材全力応援室の“顧客”は、①市内企業、②市内外の高校・大学等の教育機関、③市内外の求職者です。

求人活動を効果的に行うために最も重要なことは、それぞれの“顧客の動向(要望)”を把握(マーケティング)し、的確な情報提供(マネジメント)を行うことです。このために、企業人材全力応援室では過去3年間、市内企業等を訪問して雇用に関する企業情報の収集に努めるとともに、県内の高校・大学はもちろん、青森県から鹿児島県まで全国の高校・大学・専門学校等を訪問して情報収集(マ-



ケティング)を行ってきました。その数は、高校が100校超、大学・専門学校等は数十校になります。これらの訪問により得た各校の“進路(就職)”に関する情報を分析してまとめ、市内企業等の皆様に提供させて頂いています。以下は、提供させて頂いた情報の一例です。

- ・平成31年度 岐阜県工業系高等学校等の管理職・進路指導主事・学科主任等名簿
- ・平成31年度 岐阜県商業・家庭・福祉系高校、特別支援学校の管理職・進路指導主事・学科主任名簿
- ・高校の受験企業決定までの“流れ”と“攻略”ポイント
- ・平成30年度 九州地区10工業系高校の進路(求人・就職)情報
- ・岐阜工高生の「進路に関する意識調査結果」等々

また、企業訪問や学校訪問等により得た情報をもとに、それぞれの“顧客”を対象として事業化したものもあります。以下は、その一例です。

- ・保護者向けセミナー：ジモト優良企業の見つけ方(講師：(株)名大社代表取締役社長 山田哲也氏)

※令和元年度は、関市、岐阜工高、可児工高、岐南工高にて開催 ※図1参照

- ・高校生・大学生向け企業見学バスツアー
- ・大学生、専門学校生のインターンシップ受け入れ補助(経費の一部補助)
- ・遠隔地の大学、高校等で開催される学内企業説明会への出展補助(経費の一部補助)等々



図1 保護者向けセミナーの例

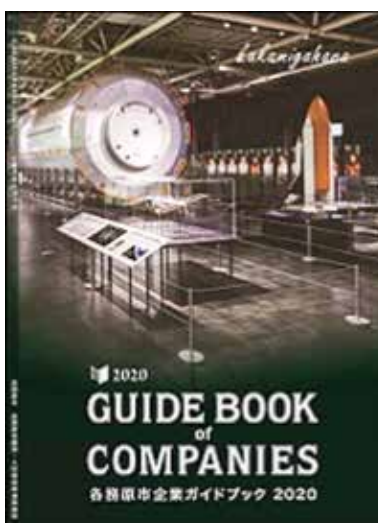


図2 各務原市企業ガイドブック2020の例



この他にも、ハローワークとの連携による「合同企業説明会」の開催など、多くの市内企業支援事業を行っています。また、各務原市雇用・人材育成推進協議会とともに市内産業・企業の認知度を高めるための活動も行っています。その一例が「各務原市企業ガイドブック2020」の発行です。※図2参照

今年度は2,000部作成し、県内の全ての高校・大学へ配布しました。県外は、訪問及び情報提供を頂いた青森県から鹿児島県までの高校50校超、大学・専門学校等50校超にも配布させて頂いています。

各務原市雇用・人材育成推進協議会(雇人協)では、毎年6月中旬に会員企業及び市内外の高校・大学・専門学校の進路指導主事や学科主任等との「雇用対策懇談会」を開催しています。今年度は6月13日(金)に各務原市産業文化センター(あすかホール)に、高校22校、特別支援学校6校、専門学校3校、大学7校、及び雇人協会員企業46社の参加により開催しました。新規高卒採用のための求人票提出直

前の開催でもあり、企業の採用担当者と学校の就職担当者との間で活発な情報交換が行われました。雇人協会企業様の参加をお勧めします。また、雇人協に未加入の企業様は是非ご加入頂き、『チーム・かかみがはら』として一緒に雇用活動を行って頂ければと思います。

各事業の詳細については、企業人材全力応援室までお問い合わせ頂ければと思います。

#### ■自社の“認知度”を高めるには？

企業の“認知度”とは？“誰に”対して“自社の何”を知って欲しいのか？ BtoBの企業では“顧客”はビジネス相手になるかと思いますが、求人活動での“顧客”は“求職者”、すなわち、学校、教員、生徒、保護者等になると思います。認知度を高めるための手法は“顧客”によって当然変化しなければ、効果的には行えないはずで。是非、企業案内やホームページ等の求人のための資料を作成されるときには、「この資料は“誰(顧客)”に対して提供するものなのか？」を明確にして頂ければと思います。(戦略的広報活動の展開) ターゲットを明確に設定すれば認知のための広報の手法(提供する情報内容、利用する媒体等)も明らかになると思います。ちなみに、「各務原市企業ガイドブック2020」の“顧客”は、①高校生・大学生の求職者 ②高校の教員 ③就職を控えた生徒の保護者 です。この3者に企業情報が的確に伝えられるよう掲載内容を吟味して制作しています。また、紙媒体の資料から“スマホ”を通して各企業のHPに誘導するためにQRコードも掲載しています。

#### ■高校教員の“自社の認知度”を高めるためには？

高校の教員(担任や学科主任)が 生徒や保護者から受験先企業について相談があったときに名前を挙げる企業は、①自分が見学をしたことがある企業 ②企業の経営者や採用担当者と直接会ったことがある企業 ③自分の教え子が働いている企業 のみです。生徒や保護者と一緒になって求人票の検索や、HPを閲覧することはありません。私も、工業高校の教員時代には千人を超える教え子の進路決定に関わってきましたが、自分から企業名を出して紹介したのは、前述の3つの場合のみでした。教員の一言が生徒の当面の人生を左右するかと思うと、自分で責任が持てない情報の提供はできません。高校教員の自社の認知度を上げるには、私の経験からは以下の方法がベストだと思います。

- ① 求人ターゲットの高校(学科)を訪問して、直接教員に企業情報を説明すること。
- ② 訪問の際に、教員を自社の見学に誘い、直接、企業を見てもらうこと。

高校の教員を自社のスポークスマンにすることができれば、自社への応募の可能性は格段に高くなります。また、教員が他校に異動してしまった場合には、異動先が有力な求人ターゲットにもなります。

企業人材全力応援室では、高校教員の企業見学のための学校長宛の依頼文書の様式も準備していますので、ご希望がありましたらお問い合わせください。

いつ、どのタイミングで企業見学に誘ったらよいのか？については、お手元に「高校の受験企業決定までの“流れ”と“攻略”ポイント」の資料がある企業様はご参照ください。同資料が未入手の企業様は、企業人材全力応援室までお問い合わせ頂きましたら、前述の様式と合わせてメールにて送付させていただきます。

生徒及び保護者に対して“認知度を高める”ための手法については、次号で述べさせて頂きたいと思います。

(文責:各務原市産業活力部商工振興課企業人材全力応援室長 長屋千秋)



## ナゴヤドーム観戦ツアーに参加

7月27日(土)。今年も、ナゴヤドーム観戦ツアーのお手伝いに青年部会員2名(会長と副会長)が参加しました。

当時中日ドラゴンズは7連敗中。そして台風6号が直撃コースで接近中という、大変な時に当たってしまいました。しかし松坂大輔が先発という事でナゴヤドームは大入り。連敗ストップと、「平成の怪物」の令和初勝利を期待して大勢のドラゴンズファンが声援を送りました。ところが・・・

この日は黒川インターからドームまでが異様な渋滞で、会場に入れたのはプレイボール30分前(例年は1時間以上前に着いています)。私はドラゴンズミュージアムで遊んでいたが、席に戻る途中で試合が始まってしまったのですが、コンコースでテレビを見ながら歩いているうちにたった3球で先制されてしまいました。席に戻ってから横浜(マシンガン)打線は打ち続け、松坂大輔はあっという間にノックアウト。1回の表だけで30分を費やし、スコアボードには「8」という見たこともない数字が表示されていました。

プライベートでの観戦なら裏の攻撃を見るまでもなく帰る所ですが、観戦ツアーですから帰るに帰れません。2回の表も2人目の三ツ間が打たれ4失点。スコアは0-12となりました。左から「8」「4」と並ぶ、9個の数字を書く欄。どこかで見たことが・・・。「ゴルフのスコアカードかよ！」小栗労務委員長の絶妙なツッコミで笑わせてもらいましたが、確かにこんなのはプロチームのスコアじゃありません。情けない・・・。

与田監督には、少し期待していたのですががっかりですね。極めつけはワイドショーでも騒がれた例の「お前騒動」でしょう。こんな見るに堪えない試合でも必死で応援をしてくれる応援団やファンを何だと思っているのか。上から目線の「お前」と、仲間や家族としての「お前」の区別もつかないとは。しかもあれだけ「炎上」したにも関わらず、撤回はせず自然鎮火を待つという有様。試合での投手交代のタイミングや、継投の起用法が下手といわれる与田監督、グラウンドの外でも「火消し」は苦手なようですね。





## 夏の風物詩 BBQが嫌い！

梅雨が明けたら夏本番！

かと思っていたら、今年の梅雨明けは例年より遅く、気づいたら本番どころかもう終盤。夏休みもあっという間で残りわずかとなってしまった。

夏といえば海に山に花火にと、身も心も開放的になるレジャー、アウトドア。

『夏に体験したいアウトドアレジャーランキング(2018)』

第1位はバーベキュー。(1位バーベキュー 40% 2位キャンプ22% 3位海水浴21%)

近年では、贅沢キャンプ「グランピング」も流行のようで、アウトドアに対する意識やバーベキュー(以下BBQ)にも関心が広がったのかと思う。

(実際、夏にするBBQは暑くて大変なんだけどね。)

アウトドアの魅力は「清々しい空気」「景色・景観」「ストレス解消」。

好きではない理由は「虫が苦手」が大多数で、後はトイレ事情その他周りの環境かな。(施設設備など)

若い頃(30年ほど前)は、それこそ当時では珍しい4WDで海に山にと出かけて、キャンプ・BBQもした。

キャンプグッズも(「これでもか!」)というほど、キャンプに行くことが趣味というより、「キャンプグッズを買い集めるのが趣味なの?」と言われるほど買いまくり、そして海に山にキャンプ場では、自宅のキッチン、リビングが引っ越しして来たような装備、環境にすることが何だか嬉しかった。

にも拘わらず、歳をとったのか、ここ数年キャンプもBBQもしなくなった。今でこそアウトドアのお店に行くとキャンプグッズやBBQコンロなど、色々なメーカーがあり、種類も山のように展示してあるが、当時はまだまだ少なく、気に入った道具もなく、何軒も探し回った記憶がある。

そんな苦勞も知らず(実際そんな苦勞を知る筈はないんだけど(-\_-))、ここ数年で周りがこぞって、やれ夏はキャンプだの、BBQだの言い出したので、

「君たちとは経験が違うんだよ?」みたいな感じで生意気にもマウントをとっていたら、いつの間にかアウトドアのビッグウェーブに乗り遅れてしまった。(-\_-)

と言うか、サーファーだった私としては、小さい波に乗り過ぎて、いざ大きい波(ビッグウェーブ)が来たときは疲れ果て、砂浜に上がって陸(おか)から波を眺めている、そんな感じ。

(人は私のことを陸サーファーと呼ぶ)

でも、一番の要因はただひとつ「BBQはめんどくさいから」

そう!面倒なんです。特にみんな(大勢)とやるBBQが。(-\_-)

自分にとって炭に火を点けることは(昔からやっているの)簡単だと思うんだけど、あまり経験のない(知らない)人に火おこしを任せると団扇で炭を扇いだりして。(-\_-)

その際、灰が周りに飛んじゃって(´・ω´)エツ?

本人はわざとやっている訳ではなく、みんなの為、良かれと思ってやっているから注意も出来ないし、ちょっとストレス。(-\_-) あと虫ね。蚊とかアブとか。虫よけスプレー、日焼け止め必須やし。網や鉄板の隅っこに肉だったのか野菜だったのか分からないものが炭化しているし、そういう自分もこんがり焼けちゃうし。焼くペースと食べるペースが合わず、特に野菜類を圧倒的に焦がすし、入念に支度しても必ずと言っていいほど忘れ物はするし、いつの間にか、焼く係と食べる係に分かれている。

コップの中の飲み物には油が浮いているし、そのうち誰のコップかお皿かも分からなくなる。焼肉のタレが入ったお皿は風でひっくり返るし、食べる物全ての味が全部焼肉のタレ(うちは黄金のタレ)。考えただけでも頭が痛くなる。

しかも、焦げた肉や灰やホコリが付いた肉に文句を言う人もいる。

(そんなこと知るか! バーベキューに来たのなら、黙って焦げた肉でも食え!)

大体外でやるバーベキューなら(焼肉とは違うよ)、ある程度、肉が焦げてしまっても仕方ないし、そもそも、美味しい肉を食べたいなら普通にエアコンの効いた焼き肉屋さんに行けばいい。バーベキューをわざわざする必要はないし、自分の家でフライパンを使って焼いた肉を食べれば良いと思う。それにしても、どうしてご飯のおこげはもてはやされるのか?

私は、焼きおにぎりにしてもご飯のおこげが好きではないので全く理解できない。

世間一般ではおこげが美味しいと言っているようだが、それは本当なのか是非、みんなに聞いてみたい。きっと美味しいと思っている人は少ないのではないかな?

絶対、焦げていない「もっちりとした白米」、「炊き立てのご飯」が美味しいに決まっている。その場の流れ、雰囲気から美味しいと言わされているのではないかな?

BBQも同じで「この清々しい空気やこの景色・景観、こんな自然の中、外で食べるBBQ(食事)は最高!」に同調して「最高!!」と言っているあなた、実は清々しい空気を「吸わず」、周りの空気を「読んで」んじゃない?

「じゃあ! 焼きそば焼こうか?!」の声に「おおーっ!!」と声をかける周りも。

みんなはそんなに焼きそば好きやったか? 夕食で嫁から「今夜は焼きそばねっ!」って言われて「おおーっ!」ってなるの? 絶対ならんと思うんだけど。

BBQも山や川に行ってお腹が空いて、食事をするのにわざわざ下山したり、水着から服に着替えるのが面倒だから、河原で食事する体でBBQするのは分かるけど、BBQ単体、特に海でするBBQは意味が全く分からない。絶対暑いし、焼いた食べ物全部砂まるけになるし。ある意味海水かかって塩分強め? 身体に良くない。

日本のBBQは外国のBBQとは少し事情が違う。日本においてBBQというのは、焼きながら食べるというのが一般的なスタイルになっていて、それはBBQではなく焼肉に分類される。

焼肉とBBQの違いは、

『「焼きながら食べる」のが焼肉』で『「焼き終えてから食べる」のがBBQ』

そもそも日本の焼肉は、その象徴的な食文化スタイルとも呼べる鍋料理の影響からか、調理と食事が同時進行している「焼きながら食べる」というのが一般的で、日本人の潜在意識の中には「素材の味を大切に」という思想があり、それは焼肉においても浸透している。

だったらやっぱり、虫もいない、日焼けもしない、暑くもない、エアコンの効いた涼しい焼き肉屋さんで、美味しい肉を、美味しい焼き方で、美味しいタイミングで食べるのが一番だと思う。

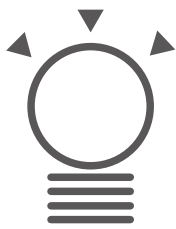
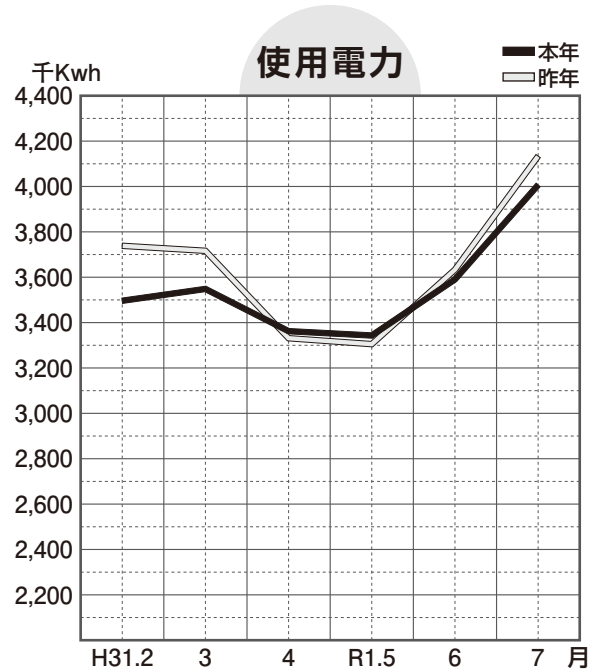
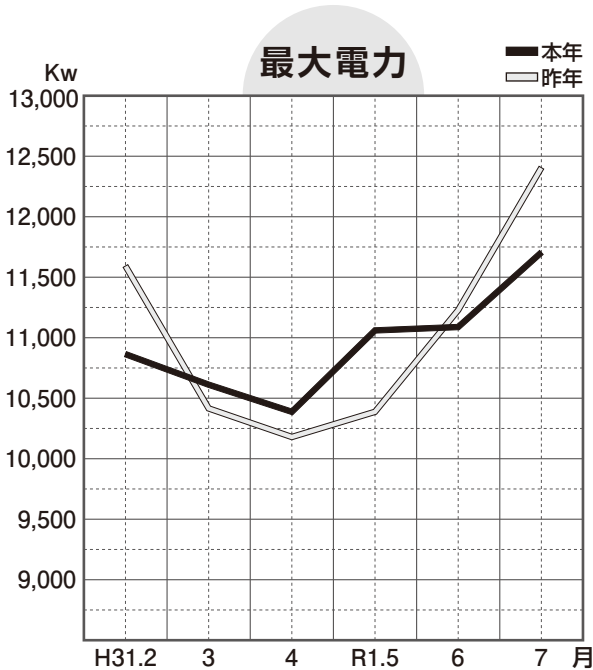
「とりあえず、生で!」

海坊主



## お知らせ

# 令和元年7月分電力使用状況



## 電気は正しく使いましょう!!

### 夏の感電事故

夏場は感電事故が最も多くなる季節です。  
製造業に多いのは機械による感電です。

原因は、

- 発汗により電気抵抗が低下し、感電しやすくなる
- 薄着で肌を露出している
- 体調や判断力が低下する

対策は、

- ケーブルや電線の被覆が破れていないかなどをチェックする  
もし見つけたら、ケーブルを取り替えるか、絶縁テープで補修する
- 電気機器については、アースを確実にを行う  
万が一漏電した場合など、アースを付けることで感電を防げます
- 濡れた手で作業をしない

# 行事予定

2019 **8** August

<b>16</b> 金	
<b>17</b> 土	『組合休日』
<b>18</b> 日	各務原元気まつり(各務原商工会議所)
<b>19</b> 月	
<b>20</b> 火	
<b>21</b> 水	
<b>22</b> 木	
<b>23</b> 金	組合青年部ガヤガヤ会議(岐阜県中小企業青年中央会)
<b>24</b> 土	組合研修センター清掃(美装モリタ商会) 団地G(第53期取り切り戦) 『組合休日』
<b>25</b> 日	
<b>26</b> 月	労務系クラウド体感セミナー(OBC) 名鉄犬山ホテルお礼の会(名鉄犬山ホテル) 月例会・役員会
<b>27</b> 火	市長との意見交換と懇親会(青年部)
<b>28</b> 水	編集委員会
<b>29</b> 木	
<b>30</b> 金	
<b>31</b> 土	『組合休日』

2019 **9** September

<b>1</b> 日	
<b>2</b> 月	
<b>3</b> 火	
<b>4</b> 水	
<b>5</b> 木	
<b>6</b> 金	
<b>7</b> 土	『組合休日』
<b>8</b> 日	
<b>9</b> 月	
<b>10</b> 火	
<b>11</b> 水	
<b>12</b> 木	
<b>13</b> 金	
<b>14</b> 土	『組合休日』
<b>15</b> 日	

## ■ 9～11月の行事予定

9月17日☒ 月例会

10月4日☒～5日☒ 組合員親睦旅行(大阪) 10月20日☒ 金属団地内停電(9:00～17:00) 10月30日☒ 代表者会議

11月18日☒ 三組合合同講演会(月例会)

## ■ 7月度金属団地ゴルフ会

7月13日☒ 諏訪湖カントリークラブ

優勝 林宏守(中日鋼線) 2位 森田浩明(森田木型) 3位 小栗國男(信栄ゴム工業)

<http://www.g-mecca.jp>

# G-MECCA

GIFU METAL ENGINEERING COMMUNITY COOPERATIVE ASSOCIATION

